

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月5日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 唐木 康正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員最高財務責任者兼
経理財務担当 (氏名) 中川 克夫

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成21年2月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	26,457	—	558	—	550	—	118	—
20年3月期第3四半期	24,726	5.8	395	△74.6	376	△74.6	157	△80.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	5.71	—	—	—
20年3月期第3四半期	7.87	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第3四半期	22,350	37.7	8,427	39.1	—	—	394.18	—
20年3月期	19,985	39.1	7,808	—	—	—	391.21	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 8,427百万円 20年3月期 7,808百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	0.00	—	5.50	5.50
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	36,100	9.7	790	22.3	700	11.7	240	3.2	11.48	—

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 21,379,000株 20年3月期 19,960,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 148株 20年3月期 83株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 20,749,392株 20年3月期第3四半期 19,959,982株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。なお、詳細につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(参考)

平成 21 年 3 月期第 3 四半期の業績

(百万円未満切捨て)

(1) 経営成績 (会計期間) (平成 20 年 10 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 3 四半期	9,200	—	371	—	363	—	143	—
20 年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21 年 3 月期第 3 四半期	6	69	—	—
20 年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	—

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第3四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)においては、5月に曳舟(東京都墨田区)、6月に仙台南光台(仙台市泉区)、10月に長崎ココウオーク(長崎県長崎市)、11月に熊本南(熊本県熊本市)の直営4クラブを新規出店し、4月に一橋大学小平国際キャンパス如水スポーツプラザ(東京都小平市)の業務受託を開始いたしました。

また、首都圏でスポーツクラブを展開する株式会社リーヴ・スポーツと8月1日付で合併し、直営10クラブ(リーヴ東久留米〔東京都東久留米市〕、同ひばりヶ丘〔東京都西東京市〕、同横浜〔横浜市西区〕、同相模大野〔神奈川県相模原市〕、同橋本〔神奈川県相模原市〕、同大和〔神奈川県大和市〕、同幕張〔千葉市美浜区〕、同北朝霞〔埼玉県朝霞市〕、同北戸田〔埼玉県戸田市〕、同春日部〔埼玉県春日部市〕)及び業務受託2クラブ(リーヴ新百合ヶ丘フットサルクラブ〔川崎市麻生区〕、新丸ビルジム〔東京都千代田区〕)を加えております。

なお、契約期間の満了等により、7月末に千葉穴川(千葉市稲毛区)、8月末に松戸馬橋(千葉県松戸市)、長野(長野県長野市)、神戸ハーバーランド(神戸市中央区)の合計4クラブを閉店いたしました。

この結果、当第3四半期末のクラブ数は、直営98クラブ、業務受託8クラブ、フランチャイズ1クラブの計107クラブとなりました。

既存クラブについては、競争環境の激化に加え、経済情勢の急速な悪化により消費マインドが冷え込み、若年層を中心にフィットネス会員の入会者数が減少したため、下表のとおり月末在籍会員数が前年を下回って推移いたしました。第3四半期に入って会員の定着が進み、やや底打ちの兆しを見せております。売上高については、前年同期比△2.9%となりました。

既存クラブ月末在籍会員数の推移(単位:%)

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			9ヶ月累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
前年同月比	△2.3	△3.2	△4.3	△4.3	△4.5	△4.7	△4.8	△3.6	△3.3	△3.9

なお、5月に広島(広島市南区)、7月に仙川(東京都調布市)、港南中央(横浜市港南区)の直営3クラブについて、内装等のリニューアルを行い、競争力の強化を図っております。

また、収益基盤回復に向けて、効率的な販促費の投入や人員配置の最適化などクラブ運営コストの抜本的な見直しを推し進め、損益分岐点の引き下げを行っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間においては、売上高は新規出店及び合併によるクラブ増加により264億57百万円(前年同期比7.0%増)となり、利益面では、クラブ運営コストの低減が進んだこと、また直営の新規出店が前年同期の6クラブから4クラブとなって初期費用が減少したこと等により、営業利益は5億58百万円(同41.3%増)、経常利益は5億50百万円(同46.0%増)、四半期純利益はクラブ閉鎖に伴う減損損失等が2億60百万円発生したことから1億18百万円(同24.6%減)となりました。

なお、文中の前年同期比は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前期末に比べ23億65百万円増加し、223億50百万円となりました。これは主に株式会社リーヴ・スポーツとの合併により敷金及び保証金や現金及び預金が増加したことにより、投資その他の資産合計が15億12百万円、流動資産合計が6億39百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前期末に比べ17億46百万円増加し、139億22百万円となりました。これは主に株式会社リーヴ・スポーツとの合併により長・短借入金が増加したことにより流動負債合計が9億54百万円、固定負債合計が7億92百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前期末に比べ6億18百万円増加し、84億27百万円となりました。これは主に株式会社リーヴ・スポーツとの合併に伴う新株発行により、資本剰余金が増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ6億36百万円増加し、9億26百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、16億99百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益2億92百万円、減価償却費12億32百万円、売上債権の減少額1億93百万円、仕入債務の増加額1億50百万円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用した資金は、12億96百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8億31百万円、敷金及び保証金の差入による支出6億95百万円、敷金及び保証金の回収による収入2億15百万円によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用した資金は、1億28百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出6億12百万円、短期借入金の純減少額1億10百万円、配当金の支払額1億6百万円、長期借入れによる収入7億円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成20年10月30日の公表数値から変更はいたしておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

詳細は、11 ページ【簡便な会計処理】をご覧ください。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

詳細は、12 ページ【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

詳細は、11 ページ【四半期財務諸表のための基本となる重要な事項等の変更】をご覧ください。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	897,317	265,554
売掛金	601,800	716,924
商品	465,457	508,557
その他	1,295,281	1,131,009
貸倒引当金	△15,989	△17,987
流動資産合計	3,243,866	2,604,057
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,425,592	5,482,608
その他(純額)	2,266,872	2,272,348
有形固定資産合計	*1 7,692,465	*1 7,754,956
無形固定資産	801,950	526,622
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,038,358	6,871,801
その他	2,604,373	2,240,541
貸倒引当金	△30,960	△12,960
投資その他の資産合計	10,611,772	9,099,382
固定資産合計	19,106,188	17,380,962
資産合計	22,350,054	19,985,019

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	※2 269,914	151,723
買掛金	169,830	137,599
短期借入金	3,900,000	3,800,000
未払法人税等	64,499	44,818
前受金	800,217	591,733
賞与引当金	211,613	277,854
その他	※2 3,235,315	2,693,416
流動負債合計	8,651,391	7,697,145
固定負債		
長期借入金	4,255,000	3,480,000
退職給付引当金	512,818	484,488
その他	503,720	514,787
固定負債合計	5,271,538	4,479,276
負債合計	13,922,929	12,176,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,146,804
利益剰余金	3,459,029	3,450,347
自己株式	△79	△56
株主資本合計	8,426,303	7,807,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	821	1,122
評価・換算差額等合計	821	1,122
純資産合計	8,427,125	7,808,597
負債純資産合計	22,350,054	19,985,019

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	26,457,636
売上原価	24,708,150
売上総利益	1,749,486
販売費及び一般管理費	※ 1,190,989
営業利益	558,496
営業外収益	
受取利息	23,404
受取手数料	14,439
受取保険金	4,038
その他	32,993
営業外収益合計	74,875
営業外費用	
支払利息	80,580
その他	2,469
営業外費用合計	83,050
経常利益	550,322
特別利益	
固定資産売却益	558
貸倒引当金戻入額	1,998
特別利益合計	2,557
特別損失	
固定資産売却損	365
固定資産除却損	24,307
減損損失	130,105
店舗閉鎖損失	48,573
その他	56,779
特別損失合計	260,130
税引前四半期純利益	292,749
法人税、住民税及び事業税	142,636
法人税等還付税額	△20,275
法人税等調整額	51,927
法人税等合計	174,287
四半期純利益	118,461

【第3四半期会計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	9,200,612
売上原価	8,411,735
売上総利益	788,877
販売費及び一般管理費	* 417,142
営業利益	371,734
営業外収益	
受取利息	8,956
受取手数料	4,396
その他	7,610
営業外収益合計	20,962
営業外費用	
支払利息	28,242
その他	1,068
営業外費用合計	29,311
経常利益	363,386
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4,030
特別利益合計	4,030
特別損失	
固定資産除却損	4,742
減損損失	62,105
店舗閉鎖損失	4,065
その他	22,862
特別損失合計	93,775
税引前四半期純利益	273,641
法人税、住民税及び事業税	65,823
法人税等調整額	64,753
法人税等合計	130,576
四半期純利益	143,065

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	292,749
減価償却費	1,232,464
固定資産除却損	24,307
減損損失	130,105
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,925
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,001
賞与引当金の増減額(△は減少)	△100,911
受取利息及び受取配当金	△23,491
支払利息	80,580
売上債権の増減額(△は増加)	193,783
たな卸資産の増減額(△は増加)	42,991
仕入債務の増減額(△は減少)	150,421
前受金の増減額(△は減少)	△142,227
その他	△11,688
小計	1,879,161
利息及び配当金の受取額	3,571
利息の支払額	△74,637
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△108,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,699,901
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	9,912
有形固定資産の取得による支出	△831,801
無形固定資産の取得による支出	△49,938
敷金及び保証金の差入による支出	△695,295
敷金及び保証金の回収による収入	215,809
その他	54,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,296,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110,000
長期借入れによる収入	700,000
長期借入金の返済による支出	△612,000
配当金の支払額	△106,026
その他	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	275,170
現金及び現金同等物の期首残高	290,913
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	360,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 926,978

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年8月1日付けで、株式会社リーヴ・スポーツを吸収合併いたしました。

合併に際し、被合併企業の株主である三菱地所株式会社に対して、当社普通株式1,419,000株を割当交付致しました。この結果、当第3四半期累計期間において、その他資本剰余金が610,170千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本剰余金が2,756,974千円となっております。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年12月31日)	
1	<p>棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づき簿価を切下げる方法)に変更しております。</p> <p>この変更により、前事業年度と同一の方法による場合と比べ、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p>

【簡便な会計処理】

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年12月31日)	
1	<p>一般債権の貸倒見積高の算定方法</p> <p>当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。</p>
2	<p>棚卸資産の評価方法</p> <p>当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。</p>
3	<p>繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 10,097,967千円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 9,600,858千円
※2 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期会計期末残高に含まれております。 支払手形 42,555千円 設備関係支払手形 36,042千円 (流動負債その他)	

(四半期損益計算書関係)

第3四半期累計期間

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 283,769千円 賞与引当金繰入額 53,461千円

第3四半期会計期間

当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの 従業員給料及び賞与 105,632千円 賞与引当金繰入額 18,061千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在)
現金及び預金 897,317千円
預け金(流動資産その他) 29,661千円
現金及び現金同等物 926,978千円

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	21,379,000

2. 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	148

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年5月22日 取締役会	普通株式	109,779	5.50	平成20年3月31日	平成20年6月27日	利益剰余金

- (2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年12月31日) 及び 当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日至平成20年12月31日)				
所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っており、平成20年8月1日付けで、株式会社リーヴ・スポーツを吸収合併したことにより、当四半期会計期間末におけるリース取引残高に前事業年度末に比べて著しい変動が認められます。				
(借主側)				
① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び四半期末残高相当額				
	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	減損損失 累計額 相当額 (千円)	四半期末 残高 相当額 (千円)
建物	22,980	4,021	—	18,958
有形固定資産 「その他」	1,723,324	917,318	16,790	789,215
無形固定資産	16,200	7,910	—	8,290
合計	1,762,504	929,250	16,790	816,464
② 未経過リース料四半期末残高相当額等				
未経過リース料四半期末残高相当額				
1年内	286,943千円			
1年超	553,170千円			
合計	840,114千円			
リース資産減損勘定の残高	1,952千円			
③ 支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額及び支払利息相当額				
(四半期累計期間)				
支払リース料	247,147千円			
リース資産減損勘定の取崩額	4,404千円			
減価償却費相当額	227,114千円			
支払利息相当額	14,876千円			
(四半期会計期間)				
支払リース料	86,283千円			
リース資産減損勘定の取崩額	1,559千円			
減価償却費相当額	78,732千円			
支払利息相当額	5,355千円			
④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法				
減価償却費相当額の算定方法				
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。				
利息相当額の算定方法				
リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。				

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)

デリバティブ取引の四半期会計期間末の契約額等は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	394.18円	1株当たり純資産額	391.21円

2. 1株当たり四半期純利益

第3四半期累計期間

当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	5.71円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	118,461
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	118,461
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,749

第3四半期会計期間

当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	6.69円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	143,065
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	143,065
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,378

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期累計期間)
	金 額
I 売上高	24,726,752
II 売上原価	23,202,860
売上総利益	1,523,892
III 販売費及び一般管理費	1,128,534
営業利益	395,357
IV 営業外収益	46,408
V 営業外費用	64,861
経常利益	376,905
VI 特別利益	3,697
VII 特別損失	68,078
税金等調整前四半期純利益	312,524
税金費用	155,382
四半期純利益	157,142

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期累計期間)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	312,524
減価償却費	1,174,187
減損損失	34,334
売上債権の増加額	△41,278
たな卸資産の増加額	△45,851
前払費用の増加額	△79,246
仕入債務の増加額	18,702
前受金の減少額	△252,921
仮払法人税等の増加額	△247,840
その他	△357,077
小 計	515,534
利息及び配当金の受取額	1,511
利息の支払額	△57,060
法人税等の支払額	△50,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,486
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,628,895
無形固定資産の取得による支出	△97,487
有形固定資産売却による収入	107,420
敷金・保証金の差入による支出	△474,061
その他	61,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,031,423
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増加額	800,000
長期借入れによる収入	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△475,000
配当金の支払額	△249,500
その他	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,575,443
IV 現金及び現金同等物の減少額	△46,492
V 現金及び現金同等物の期首残高	440,177
VI 現金及び現金同等物の第3四半期末残高	393,684